

アイスバーン はみ出し、正面衝突

アイスバーン スピードダウンと車間距離

カーブ手前で十分減速し
滑走スリップ、横滑りスピンの注意

留寿都村 アイスバーン 左カーブ ダンプがスリップ、対向車線にはみ出し トラックと正面衝突 トラックの男性、足の骨を折る大けが

2021年12月17日 14時27分

17日午前10時ごろ、留寿都村三ノ原の国道230号線でダンプとトラックが正面衝突しました。

警察によりますとこの事故でトラックを運転していた男性が意識不明の状態^①で病院に運ばれ、その後、意識は回復しましたが足の骨を折る大けがをしたということです。

現場の状況などからダンプが対向車線にはみ出したとみられ、警察は運転していた会社員の男性容疑者(61)を過失運転傷害の疑いでその場で逮捕しました。調べに対し、「スリップして衝突してしまった」などと話しているということです。

現場はダンプから見て左カーブの片側1車線の道路で、当時、路面はアイスバーン状態だったということです。

警察はダンプがスリップし車線をはみ出したとみて事故の詳しい原因を調べています。